

ASCURE 卒煙 コラム

ペットにも受動喫煙の影響？

..... 今月のコラム CHECK

- ・人と同じく動物も受動喫煙の影響を受ける
- ・受動喫煙により猫の悪性リンパ腫になる確率は 3.2 倍に
- ・受動喫煙により犬のがんになる確率は 1.6 倍に

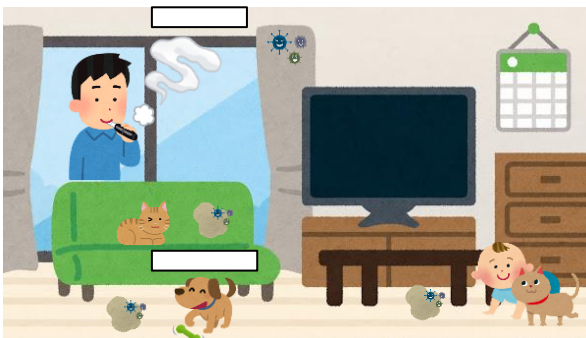


■ ペットも影響を受ける飼い主さんのたばこ

たばこを吸って身体に入っていく煙（主流煙）よりも、たばこの先端から出ている煙（副流煙）のほうが有害物質が多いと報告されています。「たばこはペットにも悪いような気がして、ペットのいない場所で吸うようにしている」などペットを気遣う優しい声を聞くことがあります。ただ残念なことに、これだけでは対策が不十分だといわれています。

「三次喫煙」という言葉をご存知でしょうか？

三次喫煙とは、喫煙後にも毛髪や衣類、ソファやカーテン、カーペットなどに有害物質が付着し、そこに触れたり、吸い込んだりすることによって生じる害のことをいいます。犬や猫などのペットは大好きな飼い主さんに甘えたり、カーペットでくつろいだりと想像以上に影響があることが想像されます。



<副流煙>

主流煙に比べて

- ・ニコチン：2.8～19.6 倍
- ・タール：1.2～10.1 倍
- ・一酸化炭素：3.4～21.4 倍¹⁾ 含まれています。

<三次喫煙>

1 週間経過しても完全に除去することができません。

実際に喫煙者のペットの尿からニコチンが検出されており、人と同じく動物も影響を受けている事がわかります。³⁾

喫煙者と同居しているペットたちは受動喫煙の影響を受け、

- 猫の悪性リンパ腫のリスクは 2.4 倍、家庭内受動喫煙が 5 年以上になると 3.2 倍⁴⁾
- 犬のがんのリスクは 1.6 倍⁵⁾
- ペットは約 8 歳で喫煙に関連したがんを発症する可能性がある⁶⁾
- 体内の免疫に関する細胞が増え、急性感染症といわれる炭疽症 (タンソシヨウ) が存在している⁷⁾
- マウス実験では、三次喫煙により、血小板が亢進され血栓に関する疾患のリスクが高まる⁸⁾

などのリスクを背負っていると報告・指摘されています。

かわいいペットを守りたいから禁煙したい、というお気持ちを ascare 卒煙プログラムは応援します！ 2月22日はにゃんこの日であると同時に、2 = 白鳥の形 = スワン = 吸わん = 禁煙にもピッタリの日でもあります。専門家と一緒に禁煙を始めてみませんか？あなたの禁煙、ascare 卒煙プログラムで促進します！



私たちと一緒に禁煙を始めてみませんか？



弊社が提供する「ascare 卒煙プログラム」では、一人ひとりの状態や悩みに応じた的確な禁煙支援を行います。加えて、「呼吸器内科医監修の専用アプリ」「禁煙に関する資格を持つ看護師／保健師／管理栄養士／薬剤師によるオンライン面談」「一般用医薬品の自宅配送」を組み合わせることで、高い利便性と、精神的・身体的サポートを実現します。

アプリでは、日々の状態を入力したり、様々な機能を使って正しい知識や禁煙に向けた対処法を学んだりすることができます。禁煙の失敗が多い 3～6 ヶ月の期間も支援する長期にわたるサポートが、プログラム終了後にもしっかりと持続できる禁煙継続に寄与します。さらに、プログラム開始から 6 ヶ月後に、専用キットを用いて禁煙達成状況の確認を行います。詳細は、ご加入の健康保険組合様までお問い合わせください。

参考・引用文献

- 1) 厚生労働省 e-ヘルスネット > 喫煙 > 受動喫煙防止 > たばこの煙と受動喫煙
<https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/tobacco/t-05-004.html>
- 2) サードハンドスモーク-もう一つの喫煙環境問題- 野口美由貴・鈴木義浩・山崎章弘 p.55
https://www.jstage.jst.go.jp/article/siej/21/1/21_51/_pdf/-char/ja
- 3) Roza, M., & Viegas, C. (2007). The dog as a passive smoker: effects of exposure to environmental cigarette smoke on domestic dogs.. *Nicotine & tobacco research : official journal of the Society for Research on Nicotine and Tobacco*, 9 11, 1171-6 .
<https://doi.org/10.1080/14622200701648391>.
- 4) Passive smoking in households may increase the risk of malignant lymphoma in cats, with longer exposure leading to a higher risk.
Bertone, E., Snyder, L., & Moore, A. (2002). Environmental tobacco smoke and risk of malignant lymphoma in pet cats.. *American journal of epidemiology*, 156 3, 268-73 .
<https://doi.org/10.1093/AJE/KWF044>.
- 5) Reif, J., Dunn, K., Ogilvie, G., & Harris, C. (1992). Passive smoking and canine lung cancer risk.. *American journal of epidemiology*, 135 3, 234-9 .
<https://doi.org/10.1093/OXFORDJOURNALS.AJE.A116276>.
- 6) Congress, B. (2013). Pets suffer from passive smoking, too. *Veterinary Record*, 172, 413 - 413.
<https://consensus.app/papers/pets-suffer-smoking-congress/194c6fddd4e55a73903d5c5f39bb9216/>
- 7) Roza, M., & Viegas, C. (2007). The dog as a passive smoker: effects of exposure to environmental cigarette smoke on domestic dogs.. *Nicotine & tobacco research : official journal of the Society for Research on Nicotine and Tobacco*, 9 11, 1171-6 .
<https://doi.org/10.1080/14622200701648391>.
- 8) Karim, Z., Alshbool, F., Vemana, H., Adhami, N., Dhall, S., Espinosa, E., Martins-Green, M., & Khasawneh, F. (2015). Third-hand Smoke: Impact on Hemostasis and Thrombogenesis. *Journal of Cardiovascular Pharmacology*, 66, 177-182.
<https://doi.org/10.1097/FJC.000000000000260>.